

栗駒国定公園 栗駒山 自然公園マナーガイド

冬期間（例年10月下旬から翌年5月下旬）は積雪の影響により、火山ガスの観測が出来ないため、須川コースの苔花台～天狗平まで立入自粛願います。

立入自粛の時期は、積雪の状況により毎年異なることから、岩手県自然保護課まで問い合わせ下さい。

麓のトイレで用を済ませてから登山しましょう！

高山植物は
採らない！
踏まない！
触らない！

携帯トイレを持参しましょう！

避難小屋は宿泊施設ではありません。

トイレはここで!!

駐車場スペースせまい！
ここまで林道（悪路）
10台程度

トイレはここで!!

トイレ
使用不可

凡例

トイレ

駐車場

警報装置

注意看板

火山ガス濃度が高い範囲

地獄谷及び昭和湖周辺は、火山ガス濃度が高く危険です。
現地の指示に従い通行して下さい。

高濃度の火山ガスが継続して観測された場合は、
須川コースの立入自粛をお願いする場合があります。

昭和湖トイレは使用できません。

ゴミは必ず持ち帰りましょう！

栗駒山（くりこまやま）

栗駒国定公園の主峰栗駒山は、岩手県では須川岳とも呼ばれ、標高1,626m。秋田では大日岳、宮城では駒ヶ岳とも呼ばれている。各県から登山コースが通じており、岩手県側は須川温泉登山口から登る。5月中旬の山開きには残雪を踏みしめての登山、6～7月は可憐な高山植物、9月下旬から10月中旬までは山が燃えるかのような紅葉を楽しむことができる。山頂までは、須川温泉登山口から1時間40分～2時間半程度。笹森登山口から4時間15分～30分程度。

登山の心得

自己管理自己責任

- 登山は常に危険と背中合わせです。
- 登山計画や安全対策は人任せにせず、自分の責任で行動しましょう。
- 天候や体調の変化を見極め、早めの判断が大切です。状況によっては、登山を断念したり引き返す勇気も必要です。
- 沢水や湧水は火山性の水ですので飲用はやめましょう。

十分な装備

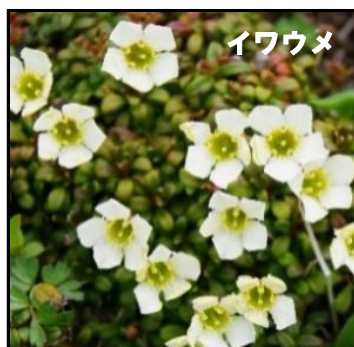
- 山の天気は急変するため、常に十分な装備を心掛けましょう。

主な装備品…携帯トイレ、ゴミ袋、ロールペーパー、水、非常食、救急用品、マップ、方位磁石、懐中電灯、雨具、防寒着など

登山計画はしっかりと

- 地図や山岳雑誌などで十分な情報を収集しましょう。
- 自分の体力・技術に見合った時間配分をしましょう。
- ビジターセンター入口に設置されている投かん箱か、最寄りの警察へ登山計画書を必ず提出しましょう。（家族や職場などへも渡しておきましょう）

栗駒山の花々



○お問い合わせ先

一関市商工観光部観光物産課
須川ビジターセンター

0191-21-8413
070-3826-4918
(9:00～16:00)
※5月上旬～11月上旬の期間は上記観光物産課まで
岩手県自然保護課 019-629-5372

ダウン
ロードで
きます。
こちら→

